

～文京区から始まる、新たな取り組み～

治療と仕事の両立支援という切り口から「働く場づくり」について考えませんか？
東京都がん患者の治療と仕事の両立への優良な取組を行なう企業表彰 優良賞や
日本対がん協会の朝日がん大賞を受賞されている株式会社松下産業様に
その経験談をお話しいたします



無料オンラインイベント

2021.11.23

働く世代のがん患者就労支援イベント

がんになった経験を 社会に活かそう

～自分のため・誰かのため～

公益財団法人日本対がん協会・特定非営利活動法人日本キャリア開発協会(JCDA) 共催
後援：文京区・社会福祉法人文京区社会福祉協議会

開催日時	2021年11月23日(火・祝) 14:00～16:30
会場	Zoomを使用したオンラインイベント
テーマ	自分らしく生き、そして働き続けるために
対象	働く世代のがん経験者 * 治療が一段落し、就労(復職や新たな就職など)を考えはじめる時期に差し掛かっている方 * 治療と仕事の両立を始めたもののモヤモヤを感じている方・・・など
プログラム	中小企業の経営者、管理者の方 * 治療と仕事の両立や、健康経営への取り組みを意識されている企業の方々 対談 株式会社松下産業代表取締役社長 松下和正様 NPO 法人 JCDA 理事長 大原良夫 りほらプログラムのご紹介、患者側/企業側それぞれの参加者の声など
参加定員	100名
参加費	無料

お申込みは、こちらのサイトから→



特定非営利活動法人日本キャリア開発協会が、文京区からスタートした“りぼら”は、
個人と企業それぞれの想いをつなぐことで、治療と仕事の両立を支援する新しい取り組みです

がん患者の就労移行前の“心の準備を支援”するとともに、誰もが安心して働ける社会の実現のため、
中小企業の“治療と仕事の両立推進”を支援します。

11月23日(火・祝)に開催する本イベントでは、取り組みの概要をお伝えしつつ
企業のトップバッターとしてご参画くださった株式会社松下産業様からの視点で、
“りぼら”についてお話しいたします。

*「りぼら」は2020年3月に日本対がん協会の休眠預金活用事業(金融機関の「休眠預金」を社会貢献に使う法制度)に採択されたプロジェクトです

〜〜 イベントプログラム概要 〜

- 対談 株式会社松下産業 代表取締役社長 松下和正様
NPO 法人日本キャリア開発協会 理事長 大原良夫
誰もが働き続ける社会の実現のために、企業が果たすべき責任・役割と、
キャリアカウンセラーによる支援の役割と可能性
- インタビュー
株式会社松下産業 ヒューマンリソースセンター長 齋藤朋子様
“りぼら”に企業として参加した経験談
- “りぼら”のプログラム概要と、参加したがん経験者の声
- 治療と仕事の両立支援について考え、対話するグループトーク

「りぼら」について(中小企業の経営者、管理者の皆さまへ)
～治療と仕事の両立支援推進や健康経営について、一緒に考えてみませんか?～
「がんになる、と分かっている入社したわけではない」
これは、あるがん患者さんの言葉です。

「治療はどうなるの?」とか「働けるの?」と会社の人から聞かれたけれど
正直・・・私だってわからない・・・これからどうなるのか、わからない。

そんな時、もしも会社の人から「一緒に考えよう」と言ってもらえたら・・・
暗闇の中にいるときに、そんな風に言ってもらえたら・・・

大切な人財を守り、活かし続ける経営者、管理者の皆さんの願いに込めたい。
「りぼら」は治療と仕事の両立を実現するお手伝いをするプログラムです。

